

2002～2003

No. 8

2003.1.22

# ガバナー月信

Rotary International District 2640

Governor's Monthly Letter



2002 - 2003年度RIテーマ

目次	PAGE
ガバナー・メッセージ	1
世界理解月間にちなんで	1
世界理解月間と国際奉仕	2
ガバナー・ノミニー確定宣言	4
2003-2004 年度短期青少年交換派遣学生の募集案内	5
2002-2003 年度 国際ロータリー第 2640 地区 地区大会のお知らせ	6
ブリスベン国際大会 第 2640 地区ジャパンナイトのお知らせ	7
第 4 回諮問委員会 および 前窪ガバナー・エレクト壮行会(国際協議会)	8
財団国際親善奨学生第 3 回オリエンテーション	9
[ロータリーの友] 1月号(創刊 50 周年特別号)について	9
国際ロータリー第 1.2.3.4(A)ゾーン地区会員増強委員長会議に出席して	10
“音楽の街 プロムナードコンサート” ご支援のお礼	11
ガバナー事務所からのお知らせ	12
出席報告(12月)	13
新入会員紹介他	14

国際ロータリー第 2640 地区  
ガバナー 小島 哲

## ガバナー・メッセージ

国際ロータリー第 2640 地区  
ガバナー 小島 哲

会長・幹事の皆様



新年あけましておめでとうございます。

多数の方々が9連休をお楽しみになったことと拝察いたしております。毎年来るお正月ではありますが、一つの区切りと考え、今年の計画を練り直す機会にしたいものです。

クラブの前半の活動状況は如何でしたでしょうか。後半の開始にあたり、振り返って頂きたいと思います。一昨年から昨年にかけて、日本の企業では常識と考えられない不祥事が続発致しました。これは、勿論、トップに立つ人の劣化が原因ではありましようが、実際に事を起したのは、もっと下の人達です。これらの人はバブルの時代に入社し、会社が忙しかった為に、その会社の社会的存在価値等の社員教育を受けずに育って来たのではないのでしょうか。ロータリーを顧みますと、それと同様のことがあるのではないかと思うのです。増強の名のもとに勧誘し、新入会員の教育と言うとおこがましい次

第ですが、ロータリーの目的、そのためにクラブはどのような活動をしているのか等々を「ロータリー情報」としてお知らせすることなく在籍されている会員さんがあるのではないのでしょうか。会員の皆様が

1. 自分のクラブが何をしているのか
2. 近隣クラブの活動状況は
3. 地区ではどうなのか
4. R Iの動きは

に対して多少とも興味を持って下さる様をお願いしたいのです。会長、幹事の方々が「ロータリーの友」、「ガバナー月信」等から上記の情報を手に入れ、会員の皆様にお伝え頂く様重ねてお願い致します。

特に、今年度世界社会奉仕を実施して下さったクラブでは、先方での結果がどうであったかを寄付して頂いた会員の皆様にお知らせすることが責務であります。面倒ではありますが、よろしく願います。それらの結果が判りましたら「クラブ便り」に掲載致しますので、ガバナー事務所にもお知らせ下さい。

1月は「ロータリー理解月間」です。上に述べましたことを、少しづつでも会員の皆様に浸透させて頂ければ、それが即ち「ロータリーの理解」につながるはずであります。

残る半年を昨年以上に有意義にお過ごし下さることを祈っております。

## 世界理解月間にちなんで

国際ロータリー第 2640 地区  
PDG 月山 和男

2003年の初春をお健やかに迎えになられたことと存じ心からお慶び申し上げます。

振り返りますと2002年は、日本は言うに及ばず世界におきましても経済的に不況の嵐が吹き、企業にとりましても整理・統合の年でありました。

加えて例年になく天候不順も加わり食糧事情も悪化し、低開発国では飢餓のために多くの人が路頭に迷う状況でありましたし、テロやイラク問題、北朝鮮問題で緊張の連続の年でもありました。こうした暗い世相の中、日韓共催によりサッカーのワールドカップが開催され、

世界の人々との間で友情を深め、世界理解の一助として大きな効果を上げましたし、更に文化科学面では我が国からノーベル賞受賞者が二人も出るなど明るい面も数多くみられた年でもありました。

こうした中で国際ロータリーは創立100周年を前にして、なんとしても地球上から忌むしいポリオを撲滅しようと懸命の努力を続けてきたところではありますが、あと一步のところまで到達したとは言え、終息までには相当の経費と支援が必要とされております。



さて2月はロータリーにとって特別な月であります。即ち2月23日は最初のロータリークラブの会合が開かれた記念日であり、各クラブは世界理解月間と平和の日として遵守し、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に

## 世界理解月間と国際奉仕

「世界理解月間」は毎年特別月間として2月に実施されます。この月間中に、クラブは世界理解に寄与するプログラムと活動を実施するように要請されています。

21世紀は「心の時代」と言われて久しいですが、最近の世界の不安定な状況を見てみると、それは単なる人類の願望に過ぎないことではないかと、危惧すら感じられます。我が国と北朝鮮人民共和国との関係も正常化に進展するかに見えていたましたが、逆戻りの様相を呈していると言われますと、北朝鮮人民共和国の動向は危険に陥れる気配すら感じられます。一昨年(2001年)の9.11事件を頂点に、20世紀の禍根を

強調しなければなりません。そして、この2月は世界理解月間として世界社会奉仕活動を活発に行うよう指示されております。

我が国におきましても経済不況により会員の減少がみられると共に出費を少なくし会費を下げるなどして会員減少に歯止めをかけようとする中で、奉仕活動に向けられるニコニコ箱への献金も減少していることは事実であります。しかし、飢餓に苦しみ死んで行く人々を見過ごしていいのでありましょか。ロータリーは他人に対する思いやりと助けあう心、超我の奉仕に志す人々の集団であります。我身を削っても一人でも多くの人々の命を救うための努力を致さねばなりません。

例会の食事を1ドルでも2ドルでも安価にし、その余剰金を世界社会奉仕に向けるのも一つの方法かとも思います。

世界はボーダレス・グローバル化が進んでおります。そして人々の命に軽重はありません。人類は一つであります。是非ご理解をいただき、この月間の意義を再度ご理解いただき世界平和のためにご尽力下さるようお願い致します次第であります。

2003年(2002年)が全人類にとって幸多い年であることを切望いたします。

国際ロータリー第2640地区  
PDG 平岡 正巳

引き摺り込んでいる感を強くするのであります。



ロータリーの「世界理解 世界平和」のアプローチの仕方は、人道的プログラム並びに教育的プログラムに沿っての人的交流であります。

1980年代の終末に世界の東西の対立が融和されましたが、1980年代の後半、米国や北欧のロータリークラブの支援で、東欧の青年職業人と米国や北欧の青年職業人の交流が行われるようになりました。

1989年にベルリンの壁が崩壊しましたが、それと機を一にして、ポーランドのワルシャワにロータリークラブが誕生、以後90年にはモスクワのロータリークラブ誕生を皮切りに続々と東欧にロータリークラブが誕生していきました。

「世界理解」を推進していくための強力なプログラムとして世界社会奉仕があります。経済先進国のロータリークラブがプロジェクトの物資を支援する形になりますが、物資の支援だけに止まらず、経済発展国のロータリークラブを訪れ、プロジェクトの進行、完結を見に会員が足を運ぶことを奨励されています。これについてよく聞くことですが、現地へ訪問する費用は時と場合によって費用が高み、もう一つ他のプロジェクトが支援できるのではないかと、この考えであります。しかし現地の人々と同じ気持ちになってプロジェクトに参画、参加することは大事なことで、人的交流は、むしろ「人心の交流」と考えるべきでしょう。ロータリーが強調する「人的交流」は単なる形式的な交流ではなく、心のこもった「人心の交流」であります。

話は変わりますが、最近ロータリーの課題は

会員が容易に退会することです。このことは、会員に「ロータリーの心」が無くなってきているからではないでしょうか。我々会員は「ロータリーの心」を育てる努力をしなければならぬと思います。

世界理解に資するプログラムとしては、WCS以外にも青少年交換をはじめ多くのプログラムがありますが、「世界理解 世界平和」について話せば、ロータリー財団について触れなければなりません。人道的プログラム並びに教育的プログラムが充実しているロータリー財団の存在は、ロータリーが世界平和のために不可欠であると世界で評価される所以であると言っても過言ではないでしょう。

2月23日はロータリーの創立記念日です。2月23日に始まる1週間をロータリーでは「世界理解と平和の週間」と呼称して、これまでのロータリーの業績を振り返ると共に、新たな平和並びに世界理解のための奉仕活動を強調することになっています。

21世紀は「心の世紀」と言われていますが、正に「ロータリーの世紀」と申しても過言ではないと思います。ロータリーの「世界理解月間」並びに「世界理解 平和週間」を契機に、世界の124万人の会員の力で「心の世紀」に飛躍する切っ掛けにしたいものです。

## 2月行事予定

2月 世界理解月間		
1日(土)	IM第2組(ホスト:御坊東)	御坊商工会館、御坊市福祉センター
8日(土)	第2回 2003～2004年度長期派遣学生へのオリエンテーション	テクスピア大阪
	米山部門 地区選考試験	
9日(日)	ローターアクト 地区連絡協議会	松原市民体育館
15日(土)	米山部門 歓送会	リーガホテルアルザ泉大津
16日(日)	インターアクト海外研修反省会(ホスト:羽衣学園・飛翔館高校)	羽衣学園高等学校
	2003年～2004年度 地区チーム研修セミナー	JA和歌山
19日(水)	羽曳野RC30周年記念行事	天王寺都ホテル
22日(土)	堺西RC20周年記念行事	リーガロイヤルホテル堺
	第2回クラブ青少年・ライラ活動委員長会議	テクスピア大阪
23日(日)	ロータリー創立記念日	
	会長エレクト研修セミナー(PETS)	ビッグ愛

2004～2005 年度 国際ロータリー第 2640 地区

ガバナー・ノミネー確定宣言

2004～2005 年度ガバナー・ノミネー候補者の推薦について、ガバナー月信 NO.1(7月1日)で公示いたしましたが、2002年9月20日の締め切りまでに、正式の推薦がございませんでした。

地区ガバナー指名委員会は協議の上、堺東南ロータリークラブ会員 永井 孝弘 君を国際

ロータリー第 2640 地区 2004～2005 年度ガバナー・ノミネーとすることに決定しましたので、ここに宣言いたします。

国際ロータリー第 2640 地区  
ガバナー 小島 哲



国際ロータリー第 2640 地区  
ガバナー 小島 哲 様

2004～2005 年の  
第 2640 地区ガバナーノミネーに指名されました  
ことを慎んでお受けいたします。

平成 15 年 1 月 16 日

堺東南ロータリー・クラブ  
永井 孝弘

**永井孝弘君の略歴**

氏 名 永井 孝弘  
生年月日 1937(昭和 12)年 12 月 25 日  
住 所 〒590-0953  
堺市甲斐町東 4 丁 2 番 17 号  
TEL.072-224-0770  
FAX.072-224-2900  
学 歴 1957 年 大阪鉄道高等学校 卒業  
職 歴 1962 年 永井織物設立  
1967年 (株)永井織物代表取締役  
現在に至る

**ロータリー歴**

1975 年 7 月 堺東南ロータリークラブ入会  
1985～86 年 クラブ幹事  
1992～93 年 クラブ会長  
1995～96 年 地区米山記念奨学金委員会委員  
1996～98 年 地区米山奨学部門委員長  
1998～01 年 地区ロータリーボランティア委員長  
2001～03 年 I M8 組ガバナー補佐  
\* マルチプル・ポール・ハリスフェロー  
\* 米山功労者

国際ロータリー第 2640 地区  
2003-2004 年度短期青少年交換派遣学生の募集案内

国際ロータリー第 2640 地区  
地区青少年交換委員会

< 目的 >

この事業は、毎年夏、3 週間から 1 ヶ月、海外のロータリークラブと学生の交換をし、家族の 1 員として生活することにより、学生がその国を学び（異文化体験）、理解し（国際理解）、友情を培い（国際親善）、ロータリーの目標である世界の平和に貢献できる人材を育成するために設けられたものです。日本と世界の国々との間に、友好の掛け橋を築いてくださる青少年とそのご家族を募集します。

< 応募資格 >

1. 15 歳から 22 歳までの学生で、原則としてロータリアンの子弟または、ロータリアンと関係の有る学生とする。
2. 適応性（外交的で、度胸があり、環境の変化に順応する意思があること）
3. 優れた親善使節となる素質があること
4. 地域社会の活動への参加
5. 自分を表現できる能力
6. 親の完全かつ無条件の支援と、家族と家族の付き合いができる家庭であること
7. スポンサークラブの推薦と支援

< 募集人数 >

約 7 名(但し、定員を超えた場合、先着順とする。)

< 交換期間及び交換相手国 >

アメリカ、オランダ、その他

交換期間は 3 週間 1 ヶ月、海外の事情により変更される場合があります。

< 交換内容 >

「アメリカ」	3 名
「オランダ」	2 名
「カナダ」	1 名
「ブラジル」	1 名

相手国によっては 先に相手国より学生が来

日する場合と先に派遣学生が出国する場合があります。交換時期は 2003 年 6 月中ごろより 8 月中ごろまでにプログラムが終了する予定ですが 相手国によっては変更があります。予定については 地区青少年交換委員会にご一任ください。

< 費用 >

往復の旅費及び付属する費用。(滞在費は相互負担。)

オリエンテーションにかかる費用。

滞在中に必要とする個人的費用

バッジの購入、名刺作成の費用

なお、受入クラブに補助金として、1 名につき 3 万円、地区委員会より支給いたします。

< 交換学生の義務 >

1. 渡航前 出発までに保護者同伴でオリエンテーションを受けること。
2. 留学中 できるだけ多くの人達と交流を行い、その国の人情、風俗、習慣、文化、歴史、社会等についての見解と理解を深め、あわせて日本を紹介し、ロータリーの主旨する国際理解と国際親善を促進するように努めること。
3. 帰国後 これから留学する後輩たちに、先輩として適切な助言を与えたり、Rotex(交換学生の同窓会組織)の一員としてロータリー活動のお手伝いをする事。

詳細についての問い合わせ先

R I 第 2640 地区カバナー事務所  
青少年交換委員会  
TEL : 0725 - 23 - 7264

## 2002-2003 年度 国際ロータリー第 2640 地区 地区大会のお知らせ

今年度はビチャイ・ラタクル R I 会長のテーマ「慈愛の種を播きましょう」の旗の下、ホストの泉大津 R C、コ・ホストの和泉 R C、和泉南 R C、忠岡 R C の 4 クラブの総力を結集して、鋭意準備中です。是非ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

**4 月 15 日(火)**

### 記念ゴルフ大会(大阪ゴルフクラブ)

大阪府泉南郡岬町深日 31

. 0 7 2 4 - 9 2 - 2 0 1 1



**4 月 26 日(土)**

### 大会第 1 日目(リーガロイヤルホテル堺)



1 日目はクラブ会長ご夫妻、幹事ご夫妻のご案内を申し上げます。奥様と一緒に会長幹事部門懇談会、R I 会長代理晩餐会にご出席ください。小島ガバナーより奥様方に分かりやすくロータリーの報告をさせていただきます。

15:00 登録受付

15:30 大会委員会

16:30 会長・幹事部門懇談会

18:00 R I 会長代理歓迎晩餐会(閉会:21:00)

**4 月 27 日(日)**

### 大会第 2 日目(リーガロイヤルホテル堺)

2 日目は、本会議、記念講演、エクスカージョン(家族集い会)を開催します。エクスカージョンでは、奥様方にカシミヤ工場の見学と西日本一のアウトレット「りんくうプレミアムアウトレット」にご案内します。

また、新たな試みとして、本会議終了後、「大懇親会」(参加費不要)を持ちたいと計画しております。懇親会にも是非ご参加ください。

9:00 登録受付

10:00 本会議開会(～17:30)

ガバナー地区現況報告、R I 会長代 R I 理現況報告他

オンツアー・ブリスベン、大会委員会報告、表彰他

ガバナーエレクト、ノミネー挨拶、R I 会長所感他

### 記念講演・パネルディスカッション

テーマ「2025 年日本は、世界は？」

講演・コーディネーター

中山太郎氏(泉州 21 世紀協会理事長)

パネリスト 外務省、  
国土交通省、経済産業  
省から各 1 名



### 大懇親会

17:45～19:30

### エクスカージョン(家族集いの会)

工場見学、りんくうプレミアムアウトレット



## ブリスベン国際大会 第 2640 地区ジャパンナイト のお知らせ

国際ロータリー第 2640 地区 地区代表幹事 高寺 寿

2003 年 6 月 1 日(日)～4 日(水)にオーストラリアのブリスベンで第 94 回国際大会が開催されます。昨年末、中島 PDG、前窪 DGE、糸井世界大会実行委員長、小西地区ローターアクト委員長と会場などの下見に行ってきました。

今回は当地区恒例のジャパンナイトの他に、ゴルフ大会も計画しております。ご家族共々会員皆様のご参加をお願いします。詳細は後日お知らせします。

行事	日程	場所	備考
2640 地区 ゴルフ大会	2003 年 5 月 30 日(金) 10:00AM～	ゴールドコースト ARUNDEL HILLS COUNTRY CLUB	登録 2,000 円/人
2640 地区 ジャパンナイト	2003 年 5 月 31 日(土) 17:00 登録 18:00 開会	ゴールドコースト ARUNDEL HILLS COUNTRY CLUB	登録 10,000 円/人 服装は自由で、 着席ビュッフェ形式。
世界大会開会式	2003 年 6 月 1 日(日)12:30～	ブリスベン BRISBANE CONVENTION AND EXHIBITION CENTRE	2～3 回に分けて開催



ジャパンナイト会場  
(ARUNDEL HILLS COUNTRY CLUB)



ゴルフコース  
(ARUNDEL HILLS COUNTRY CLUB)



ゴールドコースト



ブリスベン





会場を案内していただいた  
グレン・キンロス元 R I 会長（左）



国際大会会場  
(Brisbane Convention & Exhibition Centre)

#### 第 4 回諮問委員会 および 前窪ガバナー・エレクト壮行会(国際協議会)

平成 15 年 1 月 11 日(土)午後 4 時よりリーガホテルアルザ泉大津にて、第 4 回諮問委員会が開催されました。

諮問委員会終了後、午後 6 時より同ホテルにて、1 月 26 日(日)~2 月 2 日(日)の国際協議会に出席される前窪貫志ガバナー・エレクトご夫妻を囲んで、壮行会を行いました。壮行会には小島ガバナーご夫妻、各パスト・ガバナーおよびご夫人、次期ガバナー補佐、次期地区幹事、和歌山南 RC 会長エレクト、副代表幹事およびエレクト事務所職員の計 41 名が出席しました。



#### 前窪 貫志ガバナー・エレクト国際協議会出発日時について

日 時 : 2003 年 1 月 25 日(土) 午後 4 時 45 分 集合  
集合場所 : 関西国際空港 4 階 南団体カウンター68 番 前  
(4 階フロア入口より向かって右寄り)

または、  
関西国際空港 3 階 特別待合室「なみはや」  
出発時間 : 午後 6 : 45 発 日本航空 060 便 ロサンゼルス行き

## 財団国際親善奨学生第3回オリエンテーション(2002年12月21日(土)テクスピア大阪)

国際ロータリー第2640地区  
財団部門委員長 岩本行弘



12月21日に2003-04年度財団国際親善奨学生を対象に、第3回目のオリエンテーションが開催されました。ロータリー財団から指定された教育機関への入学を目指して、各自の進路を歩み始めました。留学の夢を実現するまで様々な問題を乗り越えなければなりません。奨学生が1日も早く入学許可を取得してくれることを願っております。

奨学生との質疑応答の後、留学先でのスピーチの準備として、全員に3分間スピーチをしていただきましたが、スピーチは日本文化の紹介などを取り入れて、よく纏められていて、内容は大変充実していたように思います。現地のロータリアンに、いつまでも印象に残るようなスピーチをしてくれるものと期待しております。

引き続き、財団学友の前田佳世さんに出席をお願いして、ドイツでの留学体験をもとに、奨学生に実践的なアドバイスをしていただきました。前田さんは、1999年度にドイツのドレスデンに2年間マルチ・イヤー奨学生として、音楽(声楽)の勉強をして2001年に帰国し、現在学友として積極的に活動しており、ロータリーの会合でも時々歌を披露しております。

最後に、カウンセラー中島治一郎 PDG より、オリエンテーションの総括と激励の言葉をいただき閉会いたしました。

### [ロータリーの友]1月号(創刊50周年特別号)について

国際ロータリー第2640地区

ロータリーの友 地区委員 中野 泰則

「友」1月号は、創刊50周年の特別号として編集され、意義深い記事が満載されています。会員の皆様には是非お読み頂くようお願い致します。興味深い記事をご紹介します。

#### (1)「歴代委員長のメッセージ」

(横組 p13~17)

歴代委員長、編集者が大変な努力で、その時代に即応した改革を行い、1月号で創刊50周年を迎えたことが良く理解できます。

#### (2)「ロータリーの友 創刊の頃」

創刊25周年記念座談会(横組 p20~22)

創刊当時のご苦労が良くわかります。特に、

東京案と大阪案が対立し、各クラブにアンケートを実施してまとめられたこと。東京発行、活版印刷、定価50円、平仮名、横組など。

原価100円を50円と決められたので、不足分を補うため広告スポンサー探しに苦労したこと。

「友」は「主婦の友」から名付けられたこと。

用語は全て日本語に訳せという者があり、サービスを「超私の奉仕」と変な日本語になったこと。

#### (3)「日本のロータリー活動50年」

(横組 p34~41)

1953(昭和28)年以降、各年度毎、「写真」と「ロータリー活動および社会動向」が上下に掲載され、分かり易く理解できます。

(4)「東京で開催された2度のRI国際大会」  
(横組 p42~43)

2回のRI国際大会は、いずれも大勢のロータリアンが参加し、成功したことがうかがえます。

1961(昭和36)年 第52回大会  
(登録者 2万3,366人)

1978(昭和53)年 第69回大会  
(登録者 3万9,834人)

2004(平成16)年第95回大会が大阪で開

催されます。前2回に比べ、更に大勢の参加が予想されます。

当地区もホストの一員です。力をあわせて成功させましょう。

(5)「ロータリー奉仕の心」(縦組 p6~10)

元国際ロータリー理事 千 玄室氏 千利休が残した茶道のこころ「和、敬、清、寂」と釈尊が教えた仏教の「六道」について分かり易く説明され、これはロータリーの「四つのテスト」に相通じるものであると結論付けされております。

50周年にふさわしい読み応えのある特別寄稿です。

### 国際ロータリー第1.2.3.4(A)ゾーン地区会員増強委員長会議に出席して

国際ロータリー第2640地区  
地区会員増強退会防止委員会  
委員長 小川 浩

昨年11月29日、大阪中之島のグランキューブ大阪(大阪国際会議場)で午前11時~午後4時迄、日本各地から各地区会員増強委員長が一同に会し会議が開催されました。午前には元RI理事・RIMZC 今井様の大変格調高い基調講演を聞き感銘を受けました。午後は日本4ゾーンの現況報告がRIMZC 亀岡様からあり、続いて“今ロータリーはなぜ拡大か”がRIMZC 高橋様から

あり、その後、各地区ゾーン代表から事例報告がありました。私達の第3ゾーンを代表して第2690地区、地区担当幹事倉敷南 RC 石本様が事例報告されました。その後、質疑応答に入り第2650地区の小池様から詳しいアンケート結果を添えて報告をされました。我々の第3ゾーンの7月から10月末までの会員の推移は以下の表の通りです。

地区名	クラブ数	純増数(昨年同期)
第2630地区	80クラブ	16名(63名)
第2640地区	75クラブ	28名(65名)
第2650地区	93クラブ	70名(61名)
第2660地区	86クラブ	56名(67名)
第2680地区	74クラブ	22名(20名)
第2690地区	66クラブ	38名(49名)
第2760地区	79クラブ	79名(120名)
第3ゾーン計	553クラブ	309名(445名)

今年は、ピチャイ・ラタクルRI会長はボトムアップを訴え、小島ガバナーも同じくボトムアップを訴えられ各クラブの自主性に委ねられま

した。地区会員増強退会防止委員会も、会員増強に関してはボトムアップで、各クラブ会長の増強目標を達成されるようお願いし、会長始め

増強委員並びに会員一同ご努力を頂きたく、地区としての増強目標を掲げていません。また、退会防止にも力を入れて頂き、ここ数年毎年平均 150 名が減っている、この現象をなんとか皆様方のお力で防止して頂きたい。会員が毎年大きく減る事はロータリー活動に支障をきたし、決して良い事ではありません。この会議で皆様方のお話を聞き、各地区共、会員増強の為に大変なご努力をされ、改めて会員増強の重要さを認識しましたが、我が地区ではボトムアップをお願いしています。会員増強は各ガバナー補佐のご指導と、各クラブ会長の増強目標達成の為に強力なリーダーシップにかかっています。地区内会員皆様方の退会防止に対するお力、会員増強に対するお力を切にお願い申し上げます。

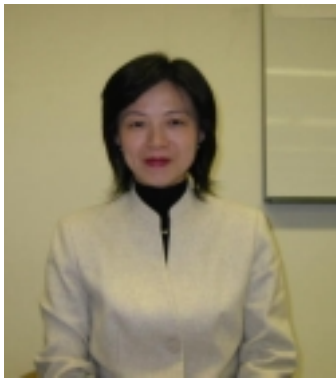
会議の途中、ピチャイ・ラタクル RI 会長がお見えになりご挨拶を頂きましたが、大変温厚な品のある方ですが、内に秘められたロータリーに対する情熱は並々ならぬものを感じました。素晴らしいリーダーシップを持たれた方でした。会長は、退会防止が重要で、会員増強は人格、地域社会における役割・信用が大切、質を重視して欲しいとの事でした。女性会員の参加も重要だと訴えられました。

最後に、RIMZC 渡辺様からまとめがあり、大変有意義な会が終わりました。今期も残す所あと半期を切りました。重ねてお願いしますが、会員増強は各クラブ会長の熱意にかかっています。少なくとも各クラブが純増 1 名して頂ければ 75 名の増になります。宜しく申し上げます。

## “音楽の街 プロムナードコンサート”ご支援のお礼

1988 年度 財団奨学生

ピアニスト・相愛大学講師 中川 知保



国際ロータリー第 2640 地区の皆様、「新年明けましておめでとうございます。」

昨年、11 月 15 日大阪狭山市さやかホール・12 月 1 日和歌山市民会館においての、“音楽の街プロムナードコンサート”～ショパンに魅せられて・きらめく音の宝石箱～では、ご後援ご助力賜りましてありがとうございました。

コンサートのためにたくさんのお骨折り下さいましたロータリアンの皆さまに心より深く感謝申し上げます。

皆様方の暖かいご支援のお陰様で、大阪公演では、満席となり追加席を設けるほどの盛況となりました。また和歌山公演では、冷たい冬の

雨が降るお足元の悪い天候にも拘わりませず、たくさんの皆さまにご来聴いただき、無事盛会のうちにコンサートを終えることができました。たくさんのご来場、たくさんのお励ましをいただきましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

お越しいただいた方々より、「2 時間近く夢中になって、子供も大人も楽しめるこんなクラシックコンサートは初めて」「日常を忘れて贅沢な空間で、心も体も癒されるひとときでした」「力強くやさしいピアノの音色と、心惹かれるおはなしに感動し勇気づけられました」「ショパンが本当にその場にいるような、物語に引き込まれる思いで聴き入りました」など、本当にたくさんのご好評とご反響をいただきました。

クラシック音楽を、ひとりでも多くのかたに、聴いていただきたいと願って、1995 年から始めたトークを織り交ぜたスタイルのピアノコンサート“音楽の森ピクニックコンサート”。

今回は、作曲家別シリーズで、一人の作曲家の人間像に迫りながら、偉大な作曲家の生き方を素晴らしい音楽と共に伝えたい、と願って“音楽の街プロムナードコンサート”と題し

て新しくスタートいたしました。

近年では、様々な分野で厳しい社会情勢が続いています。

いつの時代でも、どんな時でも、奉仕の理念と暖かい愛情を持って、社会にご尽力を惜しまず続けていらっしゃる、ロータリアンの皆様の、大きな暖かいお背中を拝見しておりますと、私も、「しっかり頑張らなくては」と、いつもロータリー財団奨学生として、学ばせていただきま

したころに戻る気持ちでございます。いつまでも初心を忘れず、社会に役立てるような音楽活動を続け、自分なりに音楽の道を力強く歩んでまいりたいと思います。これからも、どうぞよろしくご指導ご助力賜りますようお願い申し上げます。

2003年が、みなさまにとって実り多き一年となりますように、心よりお祈り申し上げます。

## ガバナー事務所からのお知らせ

### クラブだより記事募集

各クラブの奉仕活動等、

ホームページの「掲示板 クラブだより」

に掲載する記事を募集中です。

- \* 各クラブから投稿をお願いします。記事および写真1～2枚をA4サイズで1ページ程度にまとめ、ガバナー事務所まで送付してください。出来るだけワードなどで作成し、メール添付ファイルで送付いただくと助かります。



## 第2640地区のホームページ

<http://www.rid2640g.org/>

## ガバナー事務所

所在地 〒595-0062  
大阪府泉大津市田中町 10-7  
泉大津商工会議所会館 1F (南海本線泉大津駅下車海側徒歩 2 分)

電話 0725-23-7264  
FAX 0725-23-9264  
E-Mail [kojima-s@eagle.ocn.ne.jp](mailto:kojima-s@eagle.ocn.ne.jp)  
勤務時間 月～金 10:00～17:00 (土・日・祝は休ませて頂きます。)  
事務職員 阪口 やよい・樽井 真理子

## 第2640地区 出席報告(2002年12月)

クラブ名	02.7.1 会員数	今月末 会員数	内 女性	入会		退会		例 会 数	12月 出席率	平均 出席率	クラブ名	02.7.1 会員数	今月末 会員数	内 女性	入会		退会		例 会 数	12月 出席率	平均 出席率
				12月	累計	12月	累計								12月	累計	12月	累計			
有田	51	53	0	0	2	0	0	4	87.50	91.66	りんくう泉佐野	38	37	2	0	0	0	1	3	80.76	82.72
有田南	46	46	0	0	0	0	0	4	91.03	93.98	堺	93	90	10	1	2	4	5	3	93.75	93.50
有田2000	26	25	2	0	0	1	1	4	81.54	84.28	堺フェニックス	40	36	9	0	0	3	4	3	80.72	84.49
藤井寺	21	22	3	0	2	1	1	4	91.60	84.86	堺東	42	41	1	0	0	1	1	4	97.92	95.79
藤井寺しゅら	19	19	0	0	0	0	0	4	96.00	90.40	堺北西	27	27	1	0	0	0	0	4	84.61	84.77
御坊	69	67	4	0	1	2	3	3	94.52	89.59	堺泉ヶ丘	30	28	0	0	0	0	2	4	89.81	87.76
御坊東	25	25	0	0	0	0	0	3	84.00	78.16	堺北	43	43	0	0	0	0	0	3	90.32	87.05
御坊南	46	48	1	0	2	0	0	4	92.02	84.70	堺南	44	47	4	0	3	0	0	3	92.31	89.79
羽曳野	34	34	0	1	1	1	1	4	96.94	93.74	堺中	42	42	0	0	0	0	0	4	75.71	74.23
羽衣	27	25	4	0	0	1	2	4	83.65	84.54	堺南西	17	16	0	0	0	0	1	3	87.50	78.02
阪南	30	30	2	0	0	0	0	4	87.51	86.24	堺西	32	30	1	0	0	1	2	3	86.96	89.60
橋本	51	49	0	0	1	2	3	3	87.69	89.15	堺おおいずみ	36	36	6	0	0	0	0	4	90.63	92.52
橋本紀ノ川	22	22	1	0	0	0	0	4	90.90	93.63	堺清陵	29	30	3	1	1	0	0	3	98.67	94.37
岩出	42	41	0	0	0	0	1	4	87.82	90.96	堺泉北	36	34	1	0	0	2	2	3	79.16	80.70
和泉	46	47	2	0	1	0	0	4	93.05	92.98	堺東南	19	19	0	1	2	0	2	3	87.18	90.65
和泉南	46	41	0	0	0	3	5	3	70.11	62.67	泉南	28	26	2	0	0	2	2	3	82.27	84.98
泉大津	56	56	1	0	1	1	1	3	82.26	85.13	新宮	65	66	0	0	3	1	2	4	90.30	89.57
泉佐野	50	49	3	0	0	0	1	3	91.23	89.44	白浜	30	25	0	0	2	5	7	3	96.43	93.53
海南	65	63	1	0	0	0	2	4	91.98	90.98	忠岡	21	19	1	0	0	1	2	4	67.50	66.51
海南東	71	72	2	0	2	0	1	3	90.00	88.61	太子	11	9	0	0	0	2	2	3	57.57	55.72
海南西	34	34	0	0	1	1	1	4	83.57	84.03	高石	44	44	1	0	1	1	1	4	84.20	77.12
貝塚	39	34	2	0	0	5	5	4	92.57	93.60	高師浜	33	30	0	0	0	3	3	3	87.50	86.30
貝塚コスモス	33	33	3	0	3	2	3	4	80.47	82.76	田辺	87	91	2	0	4	0	0	3	94.51	92.30
関西国際空港	45	43	2	0	0	1	2	4	68.29	73.44	田辺はまゆう	28	24	3	0	1	2	5	4	91.35	85.00
河内長野	37	33	3	0	0	3	4	3	89.30	89.30	田辺東	58	59	2	0	3	1	2	3	92.26	90.35
河内長野東	34	32	0	0	1	3	3	4	95.60	92.24	富田林	38	37	1	0	0	0	1	4	97.22	92.44
岸和田	79	74	0	0	1	3	6	3	88.41	87.22	富田林南	32	32	1	0	1	1	1	4	88.39	89.54
岸和田東	67	65	10	0	0	0	2	3	91.28	93.40	打田	15	17	3	0	2	0	0	3	90.20	91.70
岸和田北	47	45	0	0	0	1	2	4	93.22	93.83	和歌山	71	73	0	0	6	1	4	4	92.21	91.10
岸和田南	35	36	2	0	1	0	0	4	83.33	89.46	和歌山アゼリア	38	42	20	0	5	0	1	3	81.66	77.90
粉河	44	44	1	0	1	0	1	3	75.39	81.99	和歌山東	64	63	0	0	3	4	4	4	98.60	98.60
高野山	31	30	0	0	0	1	1	3	87.67	88.71	和歌山城南	51	52	1	0	2	1	1	4	88.33	89.83
串本	18	18	1	0	0	0	0	4	51.39	59.95	和歌山北	72	68	1	0	1	4	5	4	84.70	83.32
松原	54	54	0	0	1	1	1	4	89.17	86.66	和歌山南	98	99	1	0	5	2	4	3	83.96	85.06
松原中	33	31	0	0	1	1	3	3	83.34	84.99	和歌山中	46	46	0	0	1	1	1	3	86.18	85.00
美原	30	31	0	0	1	0	0	3	84.93	85.82	和歌山西	39	39	1	0	2	2	2	4	92.31	92.06
那智勝浦	23	22	2	0	0	0	1	4	69.32	72.02	和歌山東南	49	46	5	0	1	3	4	4	77.84	77.48
大阪狭山	6	6	0	0	0	0	0	4	87.30	94.30											

クラブ	7月1日クラブ会員数		12月末クラブ会員数	
75	男性	2987	女性	131
	3118		男性	2927
			女性	135
			3062	

12月平均 出席率
86.50

入会		退会	
12月	累計	12月	累計
4	75	82	131

## ホール・ハリス・フェロー

ホール・ハリス・フェロー						
2002年11月	氏名	所属クラブ				
	川野 富喜子	和歌山アゼリア				
2002年12月	氏名	所属クラブ		氏名	所属クラブ	
		宮崎 勝司	有田		田中 幸民	岸和田
	佐々木 源次	有田南	③	永橋 義清	岸和田	
	坂井 敏雄	有田南	②	西村 政和	岸和田	⑤
	大原 裕	有田南	①	西秦 好郭	岸和田	
	塩路 信兼	有田南		秦 正光	岸和田	①
	小池 佳史	御坊東		久松 正典	岸和田	①
	正木 謙二	御坊東		前川 篤	岸和田	③
	塩路 昌雄	御坊東		皆見 量政	岸和田	⑥
	喜多 英隆	御坊南	BE	宮本 周一	岸和田	
	浅田 洋治	御坊南		毛利 高二	岸和田	④
	土井 政一	御坊南	②	山本 起義	岸和田	①
	岩中 昭英	御坊南	①	中山 義之	岸和田	BE
	松下 旭	御坊南	②	雪本 清登志	岸和田	BE
	岩田 博生	羽衣		野 津一	岸和田東	⑤
	中谷 育弘	羽衣		小山 潤二	岸和田北	
	谷野 一彦	羽衣		善野 菊雄	岸和田北	BE
	津田 政春	羽衣		林 勝彦	岸和田南	
	米澤 清和	羽衣		和田 武子	堺	
	谷口 善志郎	橋本	BE	石田 得子	堺フェニックス	①
	倉淵 信哉	橋本		岡田 正一	堺フェニックス	②
	吉田 裕	橋本	③	岡本 勝士	堺フェニックス	①
	前田 米藏	橋本	②	今野 華	堺フェニックス	
	岡 正孝	岩出	①	片木 修	堺フェニックス	
	讀岐 洋精	和泉南		田中 範子	堺フェニックス	
	榎本 善夫	泉大津	①	渡邊 力夫	堺フェニックス	
	中 透	泉大津	①	林 勝行	堺東	
	中島 治一郎	泉大津	⑨	八木 実	堺北西	
	田村 能孝	海南東	②	山本 五郎	堺北西	
	宇恵 弘純	海南東	③	坂口 伸宏	堺泉ヶ丘	
	福原 弌	貝塚	BE	堀畑 好秀	堺北	③
	楠本 海量	貝塚		島田 衛	堺北	②
	小西 喜代一	貝塚	①	森田 敬典	堺南	BE
	阪口 明	貝塚	②	鶴 俊夫	堺東南	①
	高松 恒美	貝塚	②	久留 宏幸	高師浜	
	坂口 修一郎	貝塚	①	日下 宗一郎	高師浜	①
	徳野 吉右衛門	貝塚	②	土橋 正宜	和歌山	
	林 孝信	貝塚		和中 美喜夫	和歌山	
	福原 弌	貝塚	①	安藤 元二	和歌山	
	古本 宏文	貝塚		木谷 聡一	和歌山	
	山中 唯司	貝塚	①	本多 俊晴	和歌山	
	小川 千恵	貝塚コスモス	BE	田辺 善彦	和歌山	
	藤田 修	貝塚コスモス	①	垂井 一	和歌山	①
	菊川 繁春	貝塚コスモス	①	垣本 博司	和歌山	①
	守行 善五郎	貝塚コスモス	②	野志 幸生	和歌山	①
	奥野 和男	貝塚コスモス		保井 彰友	和歌山	①
	沢田 秀男	貝塚コスモス	②	西平 都紀子	和歌山アゼリア	
	柳田 正子	貝塚コスモス	①	内藤 恭子	和歌山アゼリア	②
	饗場 博美	岸和田	④	亀井 雅幸	和歌山北	BE
	大崎 徳治	岸和田	①	笠野 義二	和歌山北	①
	片山 重幸	岸和田	⑦	南 寛	和歌山北	①
	坂口 一男	岸和田	③	田島 耕司	和歌山北	②
	櫻井 昇	岸和田	③	楠本 聖二	和歌山東南	
	柴田 辰男	岸和田	⑪	山口 幸也	和歌山東南	①

○数字はマルチブルの回数  
BEはベネファクター

## 米山功労者

2002年12月	氏名	所属クラブ	回数	氏名	所属クラブ	回数
	野村 義夫	御坊		岡田 正一	堺フェニックス	
	森澤 孝仁	御坊		岡本 勝士	堺フェニックス	
	林 宏和	御坊南		米田 眞理子	堺フェニックス	
	向井 孝行	御坊南		松本 義彦	堺南	③
	谷口 卓司	御坊南		藤井 迪夫	堺東南	
	藤原 重行	泉大津		丸山 博之	田辺東	
	川上 正人	泉大津		楠本 正明	田辺東	
	川下 憲二	河内長野東		名手 功	和歌山東	
	有本 平	りんくう泉佐野		小嶋 克己	和歌山中	
福井 逸雄	りんくう泉佐野		中板 国夫	和歌山東南		

## 新入会員紹介

氏名	所属クラブ	職業分類	生年月日
福西 慶起	羽曳野	電気供給	昭和 30 年 4 月 1 日
野村 昌彦	堺	旅行業	昭和 33 年 10 月 17 日
横野 沙丘子	堺清陵	音楽講師	昭和 22 年 12 月 11 日
西井 勝	堺東南	プラスチック工業	昭和 17 年 12 月 9 日

### 訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



#### 須田 弘行 (河内長野東)

平成14年12月18日逝去(享年67歳)

在籍期間18年

職業分類 シニアアクチブ(米穀)

ポールハリスフェロー

ベネファクター 1回

生年月日 昭和11年1月21日

### 元国際役員の訃報

第 2580 地区パストガバナー (1988 ~ 89 年度) 川口 隆三 様 (東京東 R C )

12 月 19 日、ご逝去されました。(享年 73 歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。